

目次

第 1 章 調査の概要	5
1. 調査の目的	5
2. 調査の内容・方法	5
(1) 調査内容	5
(2) 調査項目・対象・方法	6
3. 調査実施体制	11
第 2 章 農産物の流通における物流拠点や輸送の状況に関する実態	12
1. 農産物の流通・物流構造の概要	14
(1) 食品の流通構造の変化	14
(2) 卸売市場の変化	15
(3) 青果物の地域間流通・物流構造	17
2. 産地における物流拠点及び集荷の状況	19
(1) 産地における物流に関する取組体制	19
(2) 産地側物流拠点としての集出荷施設	24
(3) 産地内の集荷における輸送パターンと輸送スケジュール	29
(4) 産地内の集荷等におけるパレット等の利用状況	32
3. 産地から消費地への幹線輸送の状況	33
(1) 産地から消費地への幹線輸送における輸送パターンと輸送スケジュール	33
(2) トラック輸送に関する状況	43
(3) 鉄道・海運等の活用に関する状況	51
(4) 産地から消費地への幹線輸送におけるパレット等の利用状況	55
4. 消費地における物流拠点及び配送の状況	63
(1) 消費地側物流拠点として卸売市場等	63
(2) 消費地内の配送における輸送パターンと輸送スケジュール	71
(3) 消費地内の配送等におけるパレット等の利用状況	77
5. 農産物物流の課題とその具体的な状況	79
(1) トラック輸送の逼迫と輸送手段の安定的な確保の必要性	80
(2) 消費地における荷受け体制に関する課題	85
(3) 物流コストに関する課題	88

第 3 章	物流拠点の合理的な活用方法等に関する事例調査結果	92
1.	農産物の生産者団体の物流拠点の活用事例	93
	(1) 高知県園芸農業協同組合連合会「園芸流通センター」	93
	(2) 山形おきたま農業協同組合「広域集出荷施設・高鮮度貯蔵施設」	98
2.	農産物を取り扱う卸売市場や小売業者等の物流センターの活用事例	102
	(1) 横浜丸中青果「横浜フレッシュセンター」	102
	(2) ラルズ「生鮮食品流通センター」	106
3.	他産業における物流拠点の活用事例	110
	(1) F-LINE の加工食品メーカー各社の共同物流センター	110
4.	海外における物流拠点の活用事例	116
	(1) スペイン「EROSKI」	116
第 4 章	物流拠点の合理的な活用等による農産物物流の今後の方向性	124
1.	課題解決に向けた基本的な考え方	124
	(1) 農産物物流の直面する危機的状況	124
	(2) 持続可能な農産物物流の実現に向けた重点課題	125
2.	物流拠点の合理的な活用等による農産物物流の今後の方向性	127
	(1) 輸送の集約化と農産物物流体系の再構築	128
	(2) パレット化・情報共有・取引環境の適正化の推進	138
3.	持続可能な農産物物流の実現に向けて	143
	(1) 関係者間の連携体制の構築	143
	(2) 農産物物流に対する消費者の意識啓発・理解醸成	145
	(3) 農産物物流の評価指標の検討・提案	146